

ルエリア トロピックスター・シリーズ

学名: *R. brittoniana* (*R. tweediana*)
種子粒数の目安: 488粒(コート種子)/グラム

プラグ生産ステージ

培地*

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。培地の pH は 5.8 から 6.2、また EC 値は 0.75mmhos/cm

播種

288 から 406 穴くらいのサイズのトレイに播種。ヨーロッパで使われている 264 穴でも可。播種後はパーミキュライト等で覆土する

ステージ 1 - 発芽には 5、6 日要する

地温: 22-25°C

光条件: 発芽には光は不要

水分: 水分レベルはややウェット(level4)を維持

湿度: 子葉が発生する頃までは相対湿度を 95%

ステージ 2

地温: 22-24°C

光条件: 26,900 ルクス(2,500 f.c.)まで上げても可

水分: 水分レベルを中くらい (level 3)からややウェット (level4)を維持し、根の発育を促す

肥料*: レート 1(100ppm(N)以下、EC 値が 0.7mmhos/cm)で、リン酸分の低い硝酸態の肥料を与える

ステージ 3

地温: 20-22°C

光条件: 26,900 ルクス(2,500 f.c.)まで上げても可

水分: 培地の表面がやや茶色に乾くくらいまで、乾かしぎみにドライな管理を行う(level 2)。苗を枯らせないように注意します

肥料*: ステージ 2 と同様の肥料をレート 2(100-175ppm(N))に上げる。その際の pH は 5.8-6.2、EC 値は 0.7-1.2mmhos/cm)を維持する

矮化剤: このステージでは不要

ステージ 4

地温: 18-20°C

光条件: 温度のコントロールが可能なら、53,800 ルクス(5,000 f.c.)まで上げても可

水分: 上記ステージ 3 と同じ

肥料: 上記ステージ 3 と同じ

鉢上げから出荷まで

培地(用土)*

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。培地の pH は 5.5 から 6.2、初期の EC 値は中庸で維持

温度

昼間温度: 18-20°C

夜間温度: 20-24°C

照度

温度のコントロールが可能なら、できるだけ高くします

かん水

極端に過湿にしたり、乾かしすぎたりしないようにします。苗を枯らせないように注意しましょう

肥料*

レート 3(175-225ppm(N)、EC 値が 1.2-1.5mmhos/cm)で、リン酸分の低い硝酸態の肥料を週 1 回与える。株の具合を見ながらアンモニア態と硝酸態を使つてうまく調整する

矮化処理剤(PGR)

アメリカ仕様: ポット上げ後 2 週の段階で、B-ナインを 2,500-5,000ppm 散布します。効果を見ながら、必要であれば 10 日後にもう 1 度散布

北ヨーロッパ仕様: 同様の段階で、B-ナインを 1,600ppm、サイコセルを 185ppm のタンクミックスで 2 回ほど散布(この方法は日照量が少なく、また温度が上がりやすいという特殊な条件を想定しているの、日本ではアメリカ仕様を参考にした方が合理的です)

ピンチ

ピンチは不要です

平均的な生産期間

播種から移植まで(288-406 穴トレイ): 4 から 5 週

移植から出荷適期まで: 6 から 7 週

出荷適期までの期間はポットサイズによって変わります

病例等

害虫: とくに報告例はなし

病気: とくに報告例はなし

注意点*: EC 値(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、土を用いた配合では適合し得ない場合があります